

『季刊民族学』特集「焼畑と文明——五木村から世界へ」

公益財団法人千里文化財団発行の『季刊民族学』177号に、本拠点代表池谷和信教授、連携拠点である歴史民俗博物館拠点藤尾慎一郎教授らの論稿を収録した特集「焼畑と文明——五木村から世界へ」が掲載されました。本拠点で2018年3月に開催した国内シンポジウム「北の焼畑、南の焼畑——日本列島の文化を再考する」、2019年11月に開催した国内セミナー「1960年の五木村の暮らし——佐々木高明氏の写真から」から連なる焼畑研究の成果となります。『季刊民族学』177号の詳細は千里文化財団ホームページよりご確認ください。

<https://www.senri-f.or.jp/%e5%ad%a3%e5%88%8a%e6%b0%91%e6%97%8f%e5%ad%a6177%e5%8f%b7%e3%80%802021%e5%b9%b4%e5%a4%8f/2021/07/30/>

目次

佐々木高明の見た焼畑——五木村から人類史を構想する
池谷和信

第1部 焼畑の歴史

五木谷に生きた先史時代人——佐々木高明氏の仮説を検証する
福原博信

稲作以前の考古学
藤尾慎一郎

『会津農書』にみる焼畑の民俗知
佐々木長生

焼畑と山の暮らし——ハゲ山への贖罪と復興への提案
前田一洋

焼畑の思想——「混ぜる」ことと「立てる」こと

川野和昭

第2部 世界の焼畑

佐々木高明の「異端の学説」——日本民族文化形成論との出会い
クライナー ヨーゼフ

焼畑の生態適応と社会適応——佐々木高明の台湾調査が与える示唆
野林厚志

移動する民モンの焼畑変容
中井信介

森と人の100年——エチオピアにおける森と焼畑の持続と変容
佐藤廉也

第3部 焼畑と現代社会

学校教育と焼畑
田村誠志

伝統作物に託す村の未来
寺嶋悠

在来作物と焼畑——現代に継承する意義
江頭宏昌

焼畑をとおしてみた地域資料館と地域社会
木野徹也

総括

焼畑民の心と現代文明
池谷和信